

令和3年8月4日
原子力安全対策課
(03-17)
<10時30分記者発表>

大飯発電所3号機の出力降下について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所3号機（加圧水型軽水炉；定格出力118.0万kW）は、定格熱出力一定運転中のところ、5時6分に「2次系サンプピット注意」の警報が発信した。

運転員がタービン建屋内の現場を確認したところ、復水器に海水を送るための循環水管（A、B2系統）のうち、A循環水管のベント弁付近から海水が漏れていることを確認した。

このため、5時37分より循環水ポンプA号機の停止操作を開始し、7時40分に停止した。その後、7時41分から出力降下の操作を行い、10時30分頃に電気出力65%に到達予定である。

今後、漏えい箇所の調査を行う予定である。

なお、今回の事象による環境への放射能の影響はない。

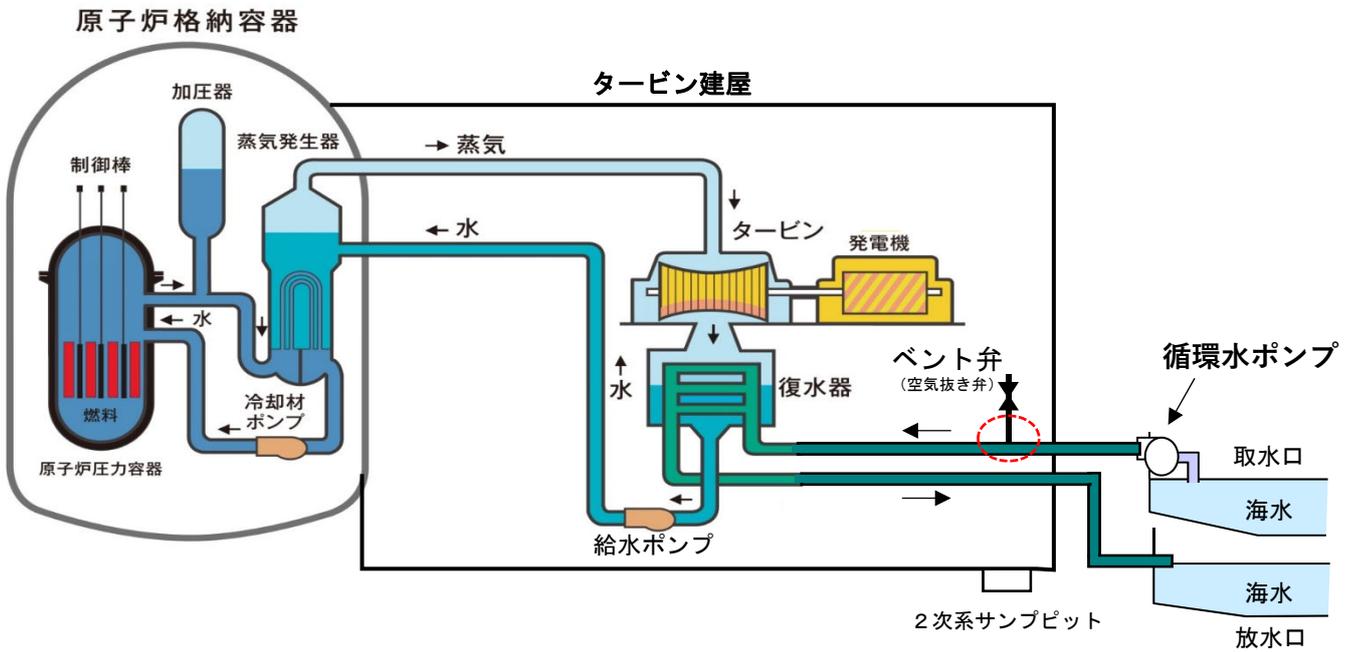
※ 2次系サンプピット：2次系排水の貯水槽。

※ 循環水ポンプ：タービンを回した蒸気を復水器で冷やして水に戻すために、復水器に海水を送りこむポンプ

問い合わせ先 原子力安全対策課（内園） 内線 2354・直通 0776(20)0314

A循環水管ベント弁付近からの海水漏れ

系統概略図



復水器系統概略図

